

【3】 バチカン写本・シナイ写本を作ったエウセビウスとは？

《現代版聖書のルーツ》より抜粋

[PDFファイル](#)

バチカン写本とシナイ写本は、エウセビウスにより、オリゲネスの『改ざん聖書』から作られました。

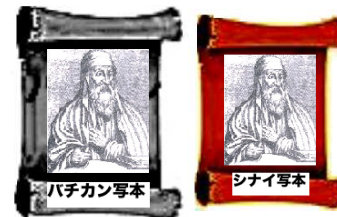
(詳細は→[聖書の歴史 E-11 『オリゲネスの『改ざん聖書』とは？』](#)参照)

■オリゲネスの『改ざん聖書』



■エウセビウスの『50冊の聖書』

(バチカン写本・シナイ写本を含む)



オリゲネスの弟子がパンフィルスであり、パンフィルスの弟子かつ友人がエウセビウスでした。

パンフィルスとエウセビウスは共同で図書館を設立し、オリゲネスの著作物をそこに収めました。



オリゲネス (185年頃～254年頃)



(その弟子) **パンフィルス** (～309年)



(その弟子・友人) **エウセビウス** (～340年)
(パンフィルスとともに図書館を設立。**オリゲネス**の著作物を取めた)

パンフィルスの死後、331年、**エウセビウス**はコンスタンティヌス帝からの指示を受けて**50冊の聖書**を用意しました。

エウセビウスは、次のような人物でした。(詳細は→[D-6](#)参照)

初代教会の歴史を記した「偉大な歴史家」とされている**エウセビウス**は、**異端のアリウス派**であり、**アリウスの友人**でもありました。

アリウスは、**イエス**は肉において来られた**神ではない**と信じていました。

すなわち、**イエス**は一人の**被造物にすぎない**と信じていたのです。

アリウスにとって、**イエス**は一人の人間以上の存在ではあっても、決して神ではなかったのです。

エウセビウスは、「**オリゲネスこそ最も偉大な人物**」と考えていました。

まとめると、こうなります。

- **エウセビウス**
 - **アリウス派**
 - **アリウスの友人**
 - **イエス**は肉において来られた**神ではない**と信じていた
 - 「**オリゲネスこそ最も偉大な人物**」と考えた

エウセビウスの**思想・信念**は、こうでした。

【異端アリウス主義】

【イエスは肉において来られた神ではない】

【イエスは一人の被造物にすぎない】

★エウセビウスは、オリゲネスを崇敬した『アリウス主義の異端者』であった。

- 【1】 [ネストレ版/UBS版聖書に関わった『現代版聖書の編集者たち』とは？](#)
- 【2】 [聖書本文RVを作った『RVの編集者たち』とは？](#)
- 【4】 [『改ざん聖書』を作ったオリゲネスとは？](#)

[《UBS版聖書本文とは？》](#) [《ネストレ-アラーント版聖書本文とは？》](#) [《聖書協会UBSとは？》](#)

[《キリスト教界でほとんど知られていない事実》](#) [ネストレ-アラーント版/UBS版聖書本文の検証](#)

[聖書の歴史](#) [目次](#) [聖書のホームページ](#) [TR 新約聖書](#)

[選択カテゴリにジャンプ!](#)

[利用規約](#) Copyright C. エターナル・ライフ・ミニストリーズ